

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

釧路中心拠点地区(都市再構築戦略事業)

令和2年2月

北海道釧路市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	市立釧路図書館の開館日の利用者数	人	79,460	82,000	111,371	確定 見込み	○	あり なし	●	97,068	H31年3月	○	目標値を達成しているものの、開館直後の数字で推計せざるを得なかったため。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	利用者の利便性向上が図られ、市民の図書館利用が促進された。
指標2	市立釧路図書館の満足度(イベント・企画の増加)	%	55.8	60.0	70.7	確定 見込み	○	あり なし	●	73.8	H31年3月	○	-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	利用者の関心や満足度が高まり、イベント参加者が増加して世代間交流の促進にもつながった。
指標3	地域交流センターの開館日の利用者数	人	14,700	16,000	17,178	確定 見込み	○	あり なし	●	-	H 年 月	-	-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	開設後の市民への周知や、利用促進に向けた事業実施により利用者が増加した。
指標4	中心拠点地区の歩行者数	人/日	10,071	12,000	5,701	確定 見込み	×	あり なし	●	9,220	R1年9月	×	数値測定月を従前値の測定月と合わせたほか、事業実施による地域への波及効果などが表れ出し、数値が上昇した。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	人口減少が進んだ影響が強く、目標値には届いていないが、事業実施の効果や交流人口の増加等により、歩行者数が増加したと考えられる(H27年10月実施の別調査において該当する地点の歩行者数は6,835人/日)。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	—					確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2	—					確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3	—					確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	図書館利用の促進	・計画的な蔵書の整備 ・利用者ニーズの多様化へ対応した事業実施 ・SNSによる情報発信強化	・蔵書は17,356冊を新たに購入 ・ビジネス支援コーナーの設置や朗読ボランティアによる対面朗読サービスの実施 ・図書館ホームページフェイスブックによるPRを実施	・今後も多様化する利用者ニーズに対応した事業の検討 ・更なる利用促進に向けた周知方法の検討
	地域交流センターの利用促進	・利用者ニーズに対応した事業として女性活躍や働き方改革に関するセミナーの開催や、父の日イベント(パパ's絵本ライブ)、防災セミナー、ふらっとフェスタを開催 ・センターでのイベントを市ホームページや広報紙を利用し関係機関、市民への周知を実施 ・センター独自のホームページの開設やフェイスブック、ツイッターなどの活用による周知を実施	・平成30年度センター主催事業(セミナー・講演会・フェスタなど)を全7回開催し618人が参加 ・市ホームページや広報くしろを利用し、センター事業の開催などを関係機関、市民へ周知し、各事業ごとの連携強化を実施 ・センター独自のホームページやフェイスブック、ツイッターを立ち上げ、センター事業はもとより関連事業の周知を実施	・都度実施するアンケート結果を勘案して、利用者ニーズに合った企画立案 ・利用者の口コミとあわせ、SNSを積極的に利用した周知方法を推進
	都心部における賑わい創出への活動の持続	・商業地域の賑わいを創出する事業に対して、財政的支援を実施	・都心部地区で行われるイベント等への補助金について5件が利用	今後も財政支援を実施し、賑わいを創出する事業の継続・増加を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心拠点地区における店舗数(事業者数)の維持・増加	・空き店舗等を活用した事業に対して、財政的支援を実施 ・創業する中小企業者に融資の斡旋を実施 ・創業希望者やあらゆる業種の事業者の「稼ぐ力」を強化するため、具体的な改善策の提案を通じた支援を行う「釧路市ビジネスサポートセンター(k-Biz)」を中心拠点地区に開所し、中心拠点地区の事業者・店舗も含めて経営支援を実施	・中心拠点地区で新たに开店した事業者への補助金について4件が利用 ・中心拠点地区で創業する事業者への融資について6件が利用 ・「釧路市ビジネスサポートセンター(k-Biz)」への民間事業の相談実施(中心拠点地区を含む全利用者) 相談件数 延べ797件 相談予約申込事業者数 370事業者	今後も財政支援や融資の斡旋、経営支援を実施し、店舗数等の維持・増加を図る。
	都心部における回遊性の創出	・インバウンド需要を取り込むため、言語や文化に関わらず快適に買い物等ができる環境を整備する個店に対して、財政的支援を実施 ・誘導施設(図書館)や、こども遊学館、近隣の公共施設や商店街との連携、協同イベントの実施	・都心部地区で多言語対応など環境整備した事業者への補助金について3件が利用 ・近隣の公共施設や民間事業者と連携し、図書館にて「なつやすみ自由研究屋台村(7月22日釧路市中央図書館・こども遊学館・釧路市立博物館・商店街)」を実施し、157名参加 ・民間事業者と連携し、図書館にて、「としょかんフェスタ2018(11月2～4日 釧路市中央図書館・商店街の共同企画)」の実施	・こども遊学館等の近隣公共施設や商店街との連携事業の実施 ・関連計画事業(釧路都心部まちづくり計画)と連動した都心部における回遊性の更なる創出

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—			
—			
—			
—			